

環境会計ガイドライン 2005 年版 目次構成案

2002 年版（現行） 目次	頁	2005 年版 目次構成案	主要な改訂内容
環境会計 GL の改訂にあたって	2	環境会計 GL の改訂にあたって	改訂内容に沿って、経緯、基本的考え方、改訂の要点、今後の課題を修正予定
（ガイドライン） はじめに	9	（ガイドライン） はじめに	「環境会計ガイドラインの目的」を追加 （前回論点 1「内部集計のための精緻化と外部公表のための集約について」に対応）
1．環境会計とは 1.1 環境会計の定義 1.2 環境会計の機能と役割	11	1．環境会計とは 1.1 環境会計の定義 1.2 環境会計の機能と役割	機能と役割を加筆 （前回論点 2「環境会計の利用目的の明確化」に対応） 解説「利害関係者の関心事の例」を追加 （前回論点 3「対象とするステークホルダーの明確化」に対応）
1.3 環境会計の一般的要件 1.4 環境会計の構成要素		1.3 環境会計の一般的要件 1.4 環境会計の構成要素	
2．環境会計の基本事項 2.1 環境会計において基本となる重要な事項 2.2 対象期間と集計範囲	20	2．環境会計の基本事項 2.1 環境会計において基本となる重要な事項 2.2 対象期間と集計範囲	
3．コストと効果の算定 3.1 環境保全コスト 3.1.1 環境保全コストの内容 （1）投資額及び費用額 （2）目的基準	22	3．環境保全コスト 3.1 環境保全コストの範囲 （1）目的基準 （2）投資額及び費用額	コストと効果を、それぞれ独立した章立てに変更 順序を変更
3.1.2 環境保全コストの分類 （1）事業エリア内コスト （1）- 1 公害防止コスト ……		3.2 環境保全コストの分類 3.2.1 事業活動に応じた分類 （1）事業エリア内コスト （1）- 1 公害防止コスト ……	

2002年版(現行) 目次	頁	2005年版 目次構成案	主要な改訂内容
3.1.3 環境保全コストの集計方法 (1) 直接識別できる場合 (2) 複合コストの場合		3.3.2 コストの性格に応じた分類 (1) 環境保全対策分野に対応したコスト 地球温暖化対策に関するコスト オゾン層保護対策に関するコスト . . . (2) 環境マネジメント項目に対応したコスト 組織全体の運営に関するコスト 操業活動に関するコスト . . . 3.3 環境保全コストの集計方法 3.3.1 直接識別できる場合 3.3.2 複合コストの場合	新たなコスト分類を追加 (前回論点4「コストの新分類について(環境保全対策分野等のコスト区分)」に対応) 記述を簡素化
3.2 環境保全効果 3.2.1 環境保全効果の分類 3.2.2 環境保全効果の表現方法 3.2.3 環境保全効果の算定方法	35	4 . 環境保全効果 4.1 環境パフォーマンス指標の利用による環境保全効果の分類 4.2 環境保全効果の算定方法 4.3 環境保全コスト分類との対応による環境保全効果の抽出	コスト対効果の相互関連性を高める観点から全面的に改訂 (前回論点6「コスト対効果について(コスト対効果の相互関連性を高めた把握)」及び前回論点7「環境保全効果の表現方法の見直し」に対応) ・指標 GL を参考に、指標の例、解説を改訂 ・分類と表現方法をあわせて記述 ・効果の表現方法を、「基準期間の総量」、「対象期間の総量」、「環境保全効果」を併記する方式に変更 ・解説「維持的な性格を持つコストに対応する効果の算定」を追加 (前回論点4「コストの新分類について(戦略的コストと維持的コストの導入)」に対応)

2002年版(現行) 目次	頁	2005年版 目次構成案	主要な改訂内容
3.3 環境保全対策に伴う経済効果 3.3.1 環境保全対策に伴う経済効果の分類 (1) 実質的効果 (2) 推定的効果 3.3.2 環境保全対策に伴う経済効果の算定方法	43	5 環境保全対策に伴う経済効果 5.1 環境保全対策に伴う経済効果の内容 5.1.1 実質的効果 5.1.2 推定的効果 5.1.3 環境保全効果の経済価値評価 5.2 環境保全対策に伴う経済効果の算定方法	推定的効果(収益、費用節減)に関する項を追加 ・解説「推定的効果の意義」を追加 (前回その他の論点に対応) 環境保全効果の経済価値評価に関する項を追加 ・解説「環境保全効果の経済価値評価の留意点」を追加 (前回その他の論点に対応)
	47	6 連結環境会計の取扱い 6.1 連結環境会計の必要性 6.2 連結の範囲 6.3 連結環境会計の集計	連結環境会計に関する考え方、集計についての留意点を追加 (前回論点8「連結環境会計について」に対応)
4 環境会計情報の開示 4.1 環境会計の開示における記載事項 (1) 環境会計において基本となる重要な事項 (2) 環境会計の集計結果 (3) 環境会計の集計結果に対する説明 (4) 環境報告書の他の項目との関連等	50	7 環境会計情報の開示 7.1 環境保全活動の経過及び成果 7.2 環境会計において基本となる重要な事項 7.3 環境会計の集計結果	見出し、順序の変更 環境保全コスト、環境保全効果、経済効果の各項に関する項目を追加 (前回論点5「環境保全コストの識別の困難性への対応」に対応) 環境報告書の他の項目との関連等は解説へ
	55	8 内部管理のための活用について 8.1 外部公表情報と内部管理情報の関係 (1) 外部公表用データの整理 (2) 内部管理への活用 8.2 内部管理のみを目的とした手法の開発 8.3 経営情報とのリンク	外部公表・内部利用に関連するデータ相互の関係等について追加 (前回論点1「内部集計のための精緻化と外部公表のための集約について」に対応) (前回論点9「内部活用について」に対応) ・解説「環境情報活用の流れイメージ」を追加

2002年版(現行) 目次	頁	2005年版 目次構成案	主要な改訂内容
	58	9 環境会計の数値を用いた分析のための指標 9.1 分析のための環境評価指標の意義と役割 9.2 分析のための環境評価指標の考え方と内容 (1) 環境保全活動が事業規模に占める割合を分析するための環境評価指標 (2) 環境保全コストに対する環境保全効果の効率性を分析するための環境評価指標 (3) 事業活動量と環境負荷量との関係を分析するための環境評価指標	環境評価指標の追加 (前回論点10「環境効率性指標について」に対応)
4.2 環境会計公表用フォーマット (1) 環境保全コスト主体型：公表用A (2) 環境保全効果対比型：公表用B (3) 総合的効果対比型：公表用C 内部集計用フォーマット	60	10 環境会計集計の集計表集 10.1 外部公表のための開示様式 (1) 環境保全活動の経過及び成果 (2) 環境会計において基本となる重要な事項 (3) 環境会計の集計結果 10.2 内部管理のための集計用フォーマット (1) コスト (2) 環境保全効果 (3) 経済効果 (4) 集計表	記載様式例を変更 各種附属明細表を追加 (前回論点4「コストの新分類について(戦略的コストと維持的コストの導入)」に対応) (前回論点6「コスト対効果について(コスト対効果の相互関連性を高めた把握)」に対応) 様式例を変更・追加

2002年版(現行) 目次	頁	2005年版 目次構成案	主要な改訂内容
		10.3 内部環境管理のための各種の付表 (1) 環境保全対策分野及び環境マネジメント項目別のフォーマットの例 (2) 環境資産に関するフォーマットの例 (3) 環境負債に関するフォーマットの例 (4) 製品外アウトプットに関するフォーマットの例	各種付表を追加 (前回論点4「コストの新分類について(環境保全対策分野等のコスト区分)」に対応) 新たなコスト分類を追加 (前回論点4「コストの新分類について(製品外アウトプットの原材料等のコストの集計)」に対応)